

令和6年度ひろしま自然保育推進事業 活動報告書

令和7年4月1日

団体所在地 尾道市高須町 4814-3
団体の名称 社会福祉法 MONDEN 会
ゆめはうす認定こども園
職・氏名 園長 大平 妙子

1 活動報告

【4月～6月】(春季)

(活動内容)

・お花見

・菜園活動 夏野菜栽培

・芝滑り

・ザリガニとり

・ジャガイモ収穫

・田植え

・サクラランボ狩り

【7月～9月】(夏季)

(活動内容)

・蟬取り

・アサガオ栽培、色水遊び

・ビルベリー狩り

・大根種まき

・ブルーベリー狩り

【10月～12月】(秋季)

(活動内容)

・ドングリ、落ち葉拾い

・サツマイモ収穫、クッキング

・玉ねぎ苗植え

・大根収穫、切り干し大根加工

・稲刈り

・しめ縄作り

【1月～3月】(冬季)

(活動内容)

・氷作り

・ジャガイモ植え

・植樹

活動報告（詳細）

1シーズンにつき最も印象的だった活動のエピソード1つご記入してください。

エピソードは、活動プロセス、保育者の関わり、子どもの育ちの見取りを端的にお願いします。

写真は基本1枚です。

【4月～6月】



住宅街の一角にあるゆめはうす認定こども園から徒歩で約10分のところにある小川です。

たまたま、近くを散歩していると近所の保育園の子ども達がエビやザリガニを網ですくっている所に遭遇しました。虫等の生き物が好きな子ども達は目がキラキラ。すぐに網を買って後日ゆめはうすの子ども達もエビやザリガニをすくいに行きました。

もちろん草むらにはバッタ等様々な虫もたくさんいます。

お散歩で水生生物を捕まえに行くことがあまりなかったのもたまたま、新たなお散歩コースが増えました。

水槽レイアウトをするとさらに子ども達の興味を引き付けます。

【7月～9月】

(写真)



毎年のようにプランターや畑で夏野菜を育てています。子ども達は生まれて初めての経験になる子もいますが、職員は毎年同じような事の繰り返し・・・そんな中ホームセンターで見つけたキュウリの型取りケース。ハートに星にクローバーの形を使ってキュウ리를栽培しました。カワイイ形のキュウリに子どもも職員もウキウキです。

【10月～12月】



大根の種を畑にまいて約3か月。数ミリだった種がこんなに立派な大根へと生長しました。

コンテナ5つ分の大豊作です。身近な園庭の畑で素敵な経験ができました。

収穫した大根は給食で食べます。酢の物になったり、おでんになったり。すぐに食べきれない物は切り干し大根にして日持ちさせ、また、お味噌汁に入れて食べます。

子ども達も自分で育て、加工した大根を嬉しそうに食べます。

来年は漬物にも挑戦してみたいと考えています。

【1月～3月】

(写真)



年が明けて一段と冷え込んだ朝。天気予報を見て前日に仕込んでおいた「水」

卵パックや、豆腐の容器、ヨーグルトのカップ等々身近な器を使って、一晩おいて氷作りをしました。

ドングリを入れたり、落ち葉を入れたり一人ひとり様々な工夫をプラスしてみました。

朝の忙しい時間帯ですが、氷作りを通して登園時に保護者と子どものちょっとした会話のきっかけになりました。

「冷たいね～」「いろんな形があるね」冷凍庫で作った氷とは一味ちがった魅力があります。

園庭の緑が少なくなる冬。冬だから楽しめる自然遊びをもっと探求していきたいと感じられる遊びになりました。

2 その他（自然体験活動の実施における今年度のプロセス）※記入必須

- ・ 職員の資質向上について

令和6年度広島県自然保育認証団体保育者等安全管理研修受講

令和6年度第1回ひろしま自然保育推進交流会受講

- ・ 地域との関わりについて

園近隣にカカシを立てている畑があり、畑の方のお誘いがあり10体以上のカカシの除幕式にお邪魔しました。子どもたちの大好きなアンパンマンやその仲間達のカカシにワクワクの子ども達でした。

除幕式には地元尾道ケーブルテレビの方も来て、幕が下りる様子や子ども達がお誘いのお礼にアンパンマンの歌を歌っているところを撮影し、後日放送されました。

JA 尾道との連携、田植え稲刈りの様子を広報に掲載

- ・ 保護者との関わりについて

入園見学の時に自然保育という事を園選びにおいて重要視していた保護者から、家の畑で育てたひょうたんや観賞用の大きなカボチャを子どもたちのために持ってきてくれました。職員もそれに感化され園で同じようなことが出来ないか調べ、ひょうたんの栽培をしました。

- ・ その他

＊より詳しく活動をアピールしたい施設は、ホームページや SNS の URL をご記入ください。

U R L	https://mondenkai.or.jp/
-------	---